

爽る秋

秋、始まつりの九月五日に開催した第10回まつりの大運動会では八月の「No.1メダル」作りをはじめ当日のあふれる笑顔とあたたかい拍手の応援、本当にありがとうございました。

「また運動会やりたい」といっておる」と言い合っている子どもたちの心と体には、今、エネルギーが満ち溢れているようです。

運動会当日、大人の目にはアツいや気後れに見えて、ハジラされた方もおありだったようですが、子どもたちの育ちは楽しんでいていた行事の後が大きいので、目には見えませんが、子どもはいつも心の中に憧れを抱いたり、やっほいたいとか、頑張っほたいとやる思いを育き立たせています。

楽しかったり面白かった、可

愛かったら「カッコーイッスゴイッ」ぬんなど心をひとつにやり遂げた。という充実感と連帯感、は、人間として支えあい、希望を育んで生きる力の糧になつていくのです。

このような心の動きをしっかりと受け止めることにより、良き方向を示してあげるのが大人たちの役割です。子どもたちの胸には、だいたい「No.1メダル」が秘められているので、お父さんお母さんからうたいたいてきた「No.1メダル」です。

子どもたちは話してくれました。「パパもママも先生もがんばった」「おじいちゃんおばあちゃんと一緒に楽しかった」

運動会を節目に、子どもたちの心には敬意と信頼と思いやりが満ちて来ているようです。

子どもの心情と意欲と態度や言葉で表わし生かしていきける保育と丁寧な続けが秀ります。

九月29日の「おじいちゃんおばあちゃん」がありがとりのつどいは、百名を超える参加申込をいただきました。お席は狭くなりましたが、どうぞ譲り合ってお楽しみください。生のお楽しみは、お楽しみです。次のお楽しみは「お芋掘り」です。今年も園児のおじいちゃんにお世話になつていきます。

今夏、あの酷暑続きで枯れてしまった苗を植え替えて、可憐な花も農作物も毎日手抜きなく世話をして下さいます。秋の季節を迎えたいです。

「花には水、人には愛」という子育ての本質を改めて教えられる秋の本番を迎えたいです。

園長 益田孝子

11月10日